



SOBAに基づいた 共著支援システム (TECOAS)

伊藤 徹 香川 考司 角谷 良彦 Jacques Garrigue

中野 圭介 西村 進 林 良生 中島 玲二

論文共著の現状

遠隔地の場合は...

CVSや
電子メールを利用

- 論文共著の流れ



誰かが叩き台を書く



共著者たちが議論する



修正箇所をまとめる

問題点

- 何ページ目の何行目かを伝えながら議論しなければならない
- 短い議論でもメールが何往復も飛び交う
- 各共著者による改訂意見を
集約するのに手間がかかる



原因

- ◆ 文字のみに制約された表現手段
- ◆ 非同期なコミュニケーション
- ◆ バラバラに蓄積された情報



TECOASによる解決法

同期的なコミュニケーション手段を提供

- 対象となる論文の閲覧を共有
- 修正箇所などへのコメントを共有
- チャットなどによる
円滑な議論を実現



実現方法

- SOBA提供のフレームワーク上で実装
 - 仮想共有空間の利用
 - 共有情報の同期などの面倒なプログラミングが不要



TECOASの構成と機能

- 論文ビューワ
 - 論文の表示を共有する
 - 改訂意見などのコメントを付加できる
- 議論用チャット
 - 共著者同士で議論を行なう
 - 数式を手軽に入力できる

電子メールによる議論とその集積を代替

将来課題

- バージョン管理機能の導入
 - 論文のバージョン管理との関係
 - 反映されていないコメントの継承
- 編集自体の共有の可能性
 - 議論しながら編集



デモ

- 概要（論文ビューワ、議論用チャット）
- アノテーション（Line、Rectangle）
- 数式入力
- チャットへコピー&ペースト（Send）
- 同期
 - 表示の共有
 - アノテーションの共有